

社 協 だ より

NO. 57

発行責任者：人来田学区社会福祉協議会 会長 亀卦川 邦男

「こんにちは、山田地域包括支援センターです。」

日頃よりご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

地域包括支援センターとは高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から支援を行う地域の高齢者支援の窓口です。仙台市がその運営管理を委託しており中学校区を基本として市内52ヶ所に設置されています。山田地域包括支援センターは人来田中学校区と山田中学校区を担当しています。

地域包括支援センターでは、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師の3職種がそれぞれの専門分野をもって互いに連携を取りながらチームとして総合的に高齢者を支えます。また、生活支援コーディネイターを配置し、地域における支え合いの体制づくりをすすめています。

高齢者の支援方法や地域に共通した課題など当事者だけでは解決できない問題に対して、医療や介護などの専門職から地域住民まで幅広い方々が集まり、解決に向けて話し合う「地域ケア会議」を行っています。

当センター圏域には平成31年4月1日現在で65歳以上の高齢者7,237人、高齢化率36%(内人来田学区は高齢者2,652人、高齢化率40.32%)となっており他の地域と比較して高い状況です。

相談の内容は「最近、足腰がよわくなったので心配だ」「一人暮らしで持病があり、急に具合が悪くなったら・・・と不安だ」「近所の高齢者が虐待されているようで心配だ」「最近、物忘れがひどくお金の管理に自信がかくなかった。頼れる身内もいない」「還付金があると電話が来たけど」等、様々な相談が寄せられます。

年々、相談件数が増え、中には包括だけでは解決できない問題も多く、区役所をはじめ社会福祉協議会、障害者相談支援事業所、精神保健福祉総合センター、生活自立・仕事相談センター等の関連機関と連携を取りながら解決に向け、職員5名で四苦八苦しております。

少子高齢化、一人暮らしの高齢者が増加するなかで、安心して暮らせる地域を構築するには公的なサービスだけでは難しく、地域住民やボランティア等のインフォーマルな社会資源の活用が不可欠となっております。

おおむね30分以内に必要なサービスを提供されるシステム（地域包括ケアシステム）の構築に向け日々努力を続けていく所存ですので、今後もご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

(山田地域包括支援センター所長 下林 啓子)



山田地域包括支援センターのメンバーの皆さん

「談話室ひときた」 次回開催

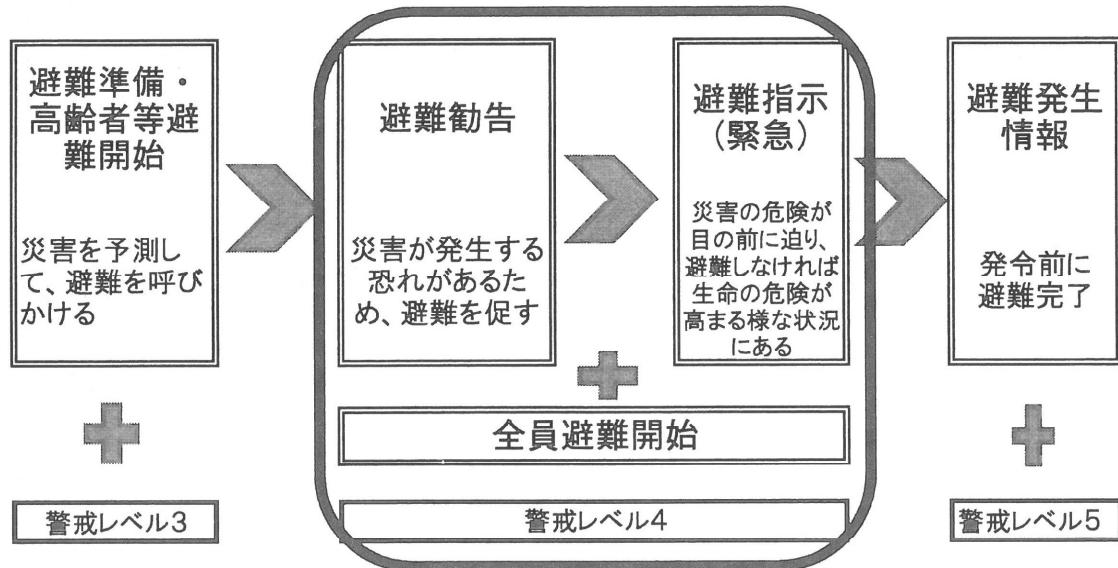
開催日 令和元年9月19日(木) 午前10時より

開催場所 人来田コミュニティーセンター・ホール

仙台防災タウンページ大雨時の避難情報について

大雨時の避難情報がかわります

- 大雨による災害が発生した場合は、新たに「災害発生情報」が発令されます
- 「災害発生情報」を含む避難勧告等の情報は、従来どおり、「町丁目単位」で発令されます
- 避難勧告等の伝達内容に「警戒レベル」が追加されます



【河川氾濫による伝達文イメージ（緊急速報メール）】

こちらは仙台市です。〇〇川氾濫の危険性が極めて高まっているため、市内的一部分に警戒レベル4、避難勧告を発令しました。対象地域の方は避難所等に避難してください。

«散歩道»

昨年は暑さに参ってましたが、今年はやませの影響で七月でも肌寒い日が続き、太陽が恋しいです。梅雨寒で身体の調子があがりませんね。そんな時は、梅雨のあい間に散歩に出かけると、身体がシャキッとして元気になります。木々の香りが元気してくれるので。オレンジ色の木イチゴや紫色の桑の実が所々に見られ、つい手が伸びてしまいます。なつかしい味。60才以上の方でしたら、口にしたことがあるのでは。子どもの頃、桑の実を食べて、服に染みをつけて怒られたり、口を紫にしてすぐばれたり。若い人は眉をひそめるかもしれません、自然の味もいいものです。

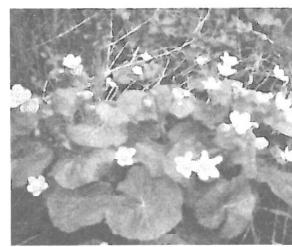
お子さんとそんな経験をしてみては。

私は梅雨空とニラメッコしながら、七月五日岩手県の焼石岳に登ってきました。そんなに高い山ではないのですが、雪が多い所なので、まだだいぶ雪が残っていて、その脇にはミズバショウが咲き出し、また、リューキンカやミヤマキンバイなど春の花が咲き出して花盛り。私の好きなシラネアオイもまだ咲いていて山を満喫してきました。

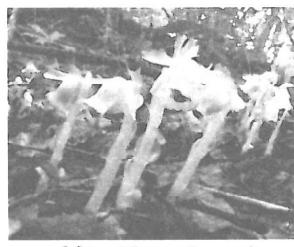
人来田地区は、太白山があり、周辺の道は木々囲まれ、夏の日もちょっと涼しく、ほっとする空間があります。お盆過ぎには、秋の花、ツリフネソウやキバナアオギリなどが、太白の道にも咲き出します。午前中の涼しい時間に散歩して秋を感じて下さい。



ミズバショウ



リューキンカ



ギンリヨウソウ
(別名ユウレイタケ)

(人来田社協委員 池田 尚子)

＜編集後記＞

最近、子どもへの虐待・育児放棄等の事件が数多く報道されています。警察に捕まってから事の重大さに気が付く親、それでも保身を謀る親。多分最近の事で無く、昔からあった事なのでしょう。報道の多角化で昔より身近なこととして知られる様になったのでしょうか。残念ながら、学校でも（公立・私立）を問わず不祥事が相次ぎました。内容はともあれ、他人の痛みに気が付く親・教育者であってほしいと、念願致します。子どもの躾は親、学校では教諭？訓導？。根本から皆で考えましょう。

(人来田社協委員 伊藤 卓)